

～ コーセー海外進出 50 周年 ～

“KOSÉ Hong Kong 50<sup>th</sup> Anniversary Ceremony 2018”を香港で開催

“China KOSÉ 30<sup>th</sup> Anniversary Ceremony 2018 in Shanghai”を中国で開催

同時に「KOSÉ BEAUTY EXPO (CHINA)」を広州・上海・成都で実施

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、本年、海外進出 50 周年を迎え、初めての進出拠点である香港で、10 月 18 日に記念式典を開催しました。また、翌 19 日には中国進出 30 周年記念式典の開催と同時に、「KOSÉ BEAUTY EXPO (CHINA)」を実施しました。



(左)コーセー香港 50 周年記念式典で挨拶するコーセー常務取締役 小林 正典  
(右)中国コーセー30 周年記念式典(上海)の様子

◆コーセー香港 50 周年記念式典「KOSÉ Hong Kong 50<sup>th</sup> Anniversary Ceremony 2018」について

【開催概要】

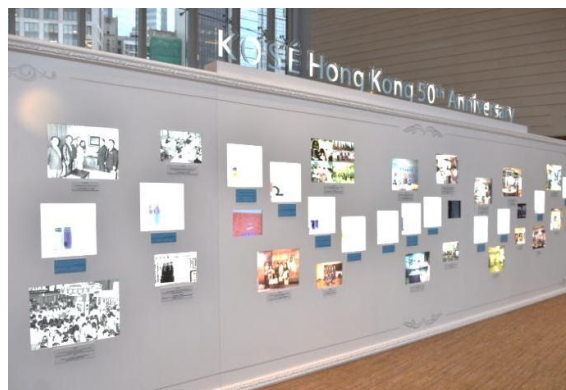
日時 : 2018 年 10 月 18 日(木) 午後 7 時～午後 10 時

会場 : フォーシーズンズホテル香港 (Four Seasons Hotel Hong Kong)

コーセーの海外市場への挑戦は、今から 50 年前の 1968 年、香港からスタートしました。当初は、知名度もない上に、日本式のカウンセリング販売という概念がなく、各国で受け入れていただくまでに地道な活動と時間が必要でした。本式典では、その道程を支えてくださった現地の流通様や取引先様を初め、総勢約 200 名の皆様にご出席いただき、コーセー海外進出 50 年の歴史を振り返りながら、常務取締役・小林 正典から感謝を申し上げるとともに、コーセーが世界で独自の価値を創出し、今後も世界で存在感のある企業へと進化していく意気込みを伝えました。



会場のフォーシーズンズホテル香港



海外進出 50 年の歴史を紹介した「マイルストーン」

## ◆中国コーセー30周年記念式典(上海)「China KOSÉ 30<sup>th</sup> Anniversary Ceremony 2018 in Shanghai」

### 【開催概要】

日時：2018年10月19日(金) 午後4～午後5時

会場：スターバックス リザーブ ロースタリー 上海 (Starbucks Reserve Roastery Shanghai) 3階ホール

今回、上海では流通様や KOL<sup>※1</sup>の皆様など総勢約 300 名の方々に対して、コーセーを代表するブランドの紹介とともに、「Made in Japan」としての品質へのこだわりや魅力、そして海外展開の最重要エリアである中国での取り組みについて説明しました。

また、11 月には北京でも記念式典を開催する予定です。

※1 KOL:Key Opinion Leader の略。SNS などのインターネット上に話題を提供し、世間に影響力を持つ人。



会場のスターバックス リザーブ  
ロースタリー 上海(3階ホール)



挨拶を行う中国コーセー仁尾董事長



会場の様子

## ◆「KOSÉ BEAUTY EXPO(CHINA)」について

### 【開催概要】

①広州「太古汇」：9月6日(木)～9日(日)

②上海「太古汇」：10月12日(金)～25日(木)

③成都「红星路步行者天国」：11月8日(木)～11日(日)

一方、30周年を迎える中国では、各エリアの情報発信拠点(広州・上海・成都)において、ミレニアル世代をターゲットに「KOSÉ BEAUTY EXPO(CHINA)」という体感イベントを実施しています。

上海では、記念式典会場であるスターバックスの旗艦店「Starbucks Reserve Roastery Shanghai」(3階ホール)に隣接したショッピングモールにおいて、10月12日から25日までの間「KOSÉ BEAUTY EXPO(CHINA)」を開催し、ブランドの世界観を体感できるブースや、デジタル機器によるメイクシミュレーションを試すことができるコーナーを設置し、海外からも多くの参加者が訪れました。



コスメデコルテ体感ブース



「KOSÉ BEAUTY EXPO(CHINA)」の会場



メイクアップシミュレーターで  
自分に似合った色探し

また、地下鉄コンコースや中心街などに広告・ビルボードを展開し、エリアジャックを行いました。



街中に広告を展開



中心街をジャック



地下鉄コンコースをジャック

### コーセーのグローバル展開 50年の歴史

香港からスタートしたコーセーの海外展開は、まずは、世界に先駆けて化粧品業界に新たなジャンルを切り開いた、美容液やパウダーファンデーションなど、コーセーの強みともいえるスキンケアやファンデーションを中心に導入しました。

当時の海外各エリアの化粧品コーナーは、商品のカテゴリー別、生産国別の陳列・販売が主流であり、日本独自のカウンセリングという概念はなかったため、この販売方法が定着するまでに時間を要しました。しかし、海外各国の美容スタッフが日本で研修を行うとともに、日本の美容教育スタッフが現地へ出向き、カウンセリング指導や実際に店頭立つなど、日本独自のカウンセリングを根付かせるために地道な活動を継続することで、各エリアでのお客さまの理解が深まり、コーセーの拡大へと繋がりました。

その後、1970年代前半から1980年代前半にかけて、ハワイやシンガポール、マレーシア、インドネシアへと順調に拡大し、1985年にはタイ、1988年には中国へと進出していきました。



香港 百貨店でのイベント(1960年代)



インドネシアでの美容の教育(1980年代)



中国の化粧品コーナー(1980年代)

アジアを中心に展開してきた海外戦略も、2012年以降はさらにエリアを拡大し、欧米展開も強化しています。近年では、イタリア、ドイツ、デンマーク、イギリス、フランス、スペインと販売エリアを欧州にも拡大。アメリカ市場では、有力百貨店 サックス・フィックス・アベニューでの『コスメデコルテ』の販売を開始し、2014年には、北米市場開拓を見据え、米国の化粧品会社「Tarte, Inc.」の株式を取得し子会社化を行うことで成長をしてきました。香港からスタートしたコーセーの海外展開は、50年を経て、現在、グループ連結として30の国と地域<sup>※3</sup>に広がっています。

当社は今後も引き続き、さらなる成長へ向け「グローバルで存在感のある企業への進化」を目指し、中期基本戦略として「世界に通用するブランドの育成」を掲げて、世界のお客さまへ向けたブランド展開を進めていきます。

※3 中国、台湾、韓国、香港、マカオ、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、ミャンマー、ベトナム、カンボジア、ラオス、米国、カナダ、オーストラリア、イタリア、イギリス、ドイツ、フランス、スペイン、ベルギー、ノルウェー、デンマーク、インド、ネパール、アラブ首長国連邦(UAE)、クウェート、カタール、ブラジル (2018年10月25日現在)

このニュースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社コーセー 広報室 TEL 03-3273-1514(直通)